

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-517102 (P2005-517102A)
【公表日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)
【年通号数】公開・登録公報 2005-022
【出願番号】特願 2003-505444 (P2003-505444)
【国際特許分類】

E 0 6 B 3/66 (2006.01)

【F I】
E 0 6 B 3/66

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 6 月 1 日 (2005.6.1)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

多重の窓ガラスの窓を製造するのに使用するためのスペーシング構造と一体化した窓サッシであって、

フレーム開口を形成する内側周囲を有するサッシフレーム、

前記内側周囲に適用され、前記開口に向けて張り出す接着剤材料であって、前記接着剤材料が、次に適用される嵌込窓ガラスを間隔をあけて取り付けるスペーシング・マウンティング構造として機能するように適合される、ところの接着剤材料、を含む一体化した窓サッシ。

【請求項 2】

請求項 1 の一体化した窓サッシであって、

接着剤のスペーシング・マウンティング構造の第一の側部が、第一の嵌込窓ガラスを支持するように適合され、

接着剤のスペーシング・マウンティング構造の第二の側部が、第二の嵌込窓ガラスを支持するように適合される、ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 の一体化した窓サッシであって、

接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、シーラントからなり、前記シーラントが、前記サッシフレームを製造するために使用されるサッシプロファイルと一緒に押出することによって前記サッシに適用される、ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 4】

請求項 1 又は 2 の一体化した窓サッシであって、

接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、前記サッシフレームを製造するために使用されるサッシプロファイル上に後で押出しされる、ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、

前記サッシフレームが、サッシプロファイルから製造され、

接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、
(i) 接着剤のビーズ、
(i i) プレフォームド接着剤フォーム、
(i i i) プレフォームド接着剤テープ、
(i v) 化学的シーラント、
のうちの一つとして、サッシプロフィールに適用される、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、接着剤のビーズ、プレフォームド接着剤フォーム、プレフォームド接着剤テープ、及び化学的シーラントのうちの一つのように、前記サッシプロフィールの内側周囲に適用される、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 7】

請求項 6 の一体化した窓サッシであって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造が前記内側周囲に適用された後、前記嵌込窓ガラスが、接着剤のスペーシング・マウンティング構造に直ちに取り付けられる、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
前記サッシフレームの内側周囲から張り出す少なくとも一つのリブをさらに含み、
前記リブが、
(i) 前記の接着剤のスペーシング・マウンティング構造を適用するための増加表面面積、
(i i) 接着剤のスペーシング・マウンティング構造に取り付けられたときの、前記嵌込窓ガラスに付加的な構造的な剛性、
のうちの少なくとも一つを与える、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 9】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、
(i) 接着剤フォーム、
(i i) 接着剤テープ、
(i i i) 接着剤シーラント、
(i v) 硬化性シリコン接着剤、
のうちの少なくとも一つからなる、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、乾燥剤と組み合わせた接着剤からなる、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 11】

請求項 1 から 10 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、嵌込窓ガラスのエッジがこれに少なくとも部分的に埋め込まれるように適合される、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 12】

請求項 1 から 11 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、縦横組立体のための少なくとも一つの

配置場所を含む、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 13】

請求項 12 の一体化した窓サッシであって、
前記配置場所が、縦横クリップのための溝を含む、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 14】

請求項 1 から 13 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
前記サッシプロファイルのベースと、前記嵌込窓ガラスのエッジとの間を架橋し、前記
嵌込窓ガラスの外側見通し表面に沿って張り出す接着剤ビーズ、
をさらに含む一体化した窓サッシ。

【請求項 15】

請求項 14 の一体化した窓サッシであって、
前記接着剤ビーズが、フレキシブルである、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 16】

請求項 1 から 15 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
前記接着剤材料が、それ自体、前記スペーシング・マウンティング構造として機能する
のに十分な硬さを有する、
ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 17】

請求項 1 から 16 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、
前記嵌込窓ガラスのストップとして前記サッシフレームの内側周囲に沿って設けられる
(i) 一体的なセッティングブロック、(i i) 連続的なセッティングストリップ、
のうちの少なくとも一つをさらに含む一体化した窓サッシ。

【請求項 18】

多重の窓ガラスを一体化した窓サッシを製造するための方法であって、
内側周囲を有するサッシフレームを与える工程、
前記内側周囲に接着剤材料を適用する工程であって、前記接着剤材料が、嵌込窓ガラス
を間隔をあけて取り付けるスペーシング・マウンティング構造として機能するように適合
される、ところの工程、
前記スペーシング・マウンティング構造の第一の側部に第一の嵌込窓ガラスを取り付け
る工程、及び
前記スペーシング・マウンティング構造の第二の側部に第二の嵌込窓ガラスを取り付け
る工程、
を含む方法。

【請求項 19】

請求項 18 の方法であって、
前記嵌込窓ガラスが、接着剤のスペーシング・マウンティング構造上に浮き、応力に関
して独立的に機能する、
ところの方法。

【請求項 20】

請求項 19 の方法であって、
セッティングブロックが、前記嵌込窓ガラスのエッジのための前記サッシフレームの内
側周囲に沿って設けられる、
ところの方法。

【請求項 21】

請求項 18 から 20 のいずれか 1 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、シーラントからなり、前記シーラント
が、前記サッシフレームを製造するために使用されるサッシプロファイルと一緒に押出し

することによって前記サッシに適用される、
ところの方法。

【請求項 22】

請求項 18 から 20 のいずれか 1 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、前記サッシフレームを製造するために
使用されるサッシプロファイル上に後で押出しされる、
ところの方法。

【請求項 23】

請求項 18 から 22 のいずれか 1 の方法であって、
前記サッシフレームが、サッシプロファイルから製造され、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、
(i) 接着剤のビーズ、
(i i) プレフォームド接着剤フォーム、
(i i i) プレフォームド接着剤テープ、
(i v) 化学的シーラント、
のうちの一つとして、サッシプロファイルに適用される、
ところの方法。

【請求項 24】

請求項 18 から 23 のいずれか 1 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、接着剤のビーズ、プレフォームド接着
剤フォーム、プレフォームド接着剤テープ、及び化学的シーラントのうちの一つのよう
に、前記サッシプロファイルの内側周囲に適用される、
ところの方法。

【請求項 25】

請求項 24 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造が前記内側周囲に適用された後、前記嵌込
窓ガラスが、接着剤のスペーシング・マウンティング構造に直ちに取り付けられる、
ところの方法。

【請求項 26】

請求項 18 から 25 のいずれか 1 の方法であって、
前記サッシフレームの内側周囲から張り出す少なくとも一つのリブを与える工程をさら
に含み、
前記リブが、
(i) 前記の接着剤のスペーシング・マウンティング構造を適用するための増加表面面積
、
(i i) 接着剤のスペーシング・マウンティング構造に取り付けられたときの、前記嵌込
窓ガラスに付加的な構造的な剛性、
のうちの少なくとも一つを与える、
ところの方法。

【請求項 27】

請求項 18 から 22 のいずれか 1 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、
(i) 接着剤フォーム、
(i i) 接着剤テープ、
(i i i) 接着剤シーラント、
(i v) 硬化性シリコン接着剤、
のうちの少なくとも一つからなる、
ところの方法。

【請求項 28】

請求項 18 から 27 のいずれか 1 の方法であって、

前記内側周囲に適用する前に、接着剤のスペーシング・マウンティング構造を乾燥剤と組み合わせる工程、
をさらに含む方法。

【請求項 29】

請求項 18 から 28 のいずれか 1 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造に前記嵌込窓ガラスのエッジを少なくとも部分的に埋め込む工程、
をさらに含む方法。

【請求項 30】

請求項 18 から 29 のいずれか 1 の方法であって、
接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、縦横組立体のための少なくとも一つの配置場所を含む、
ところの方法。

【請求項 31】

請求項 30 の方法であって、
前記配置場所が、縦横クリップのための溝を含む、
ところの方法。

【請求項 32】

請求項 18 から 31 のいずれか 1 の方法であって、
前記嵌込窓ガラスのうちの少なくとも一枚の外側見通し表面に沿って接着剤ビーズを適用する工程であって、前記接着剤ビーズが、前記サッシプロファイルのベースと、前記嵌込窓ガラスのエッジとを架橋する、工程、
をさらに含む方法。

【請求項 33】

請求項 32 の方法であって、
前記ビーズが、前記外側見通し表面に適用され、前記嵌込窓ガラスを取り付けた前記接着剤のスペーシング・マウンティング構造の側部を隠すように前記ベースの上方に十分に張り出す、
ところの方法。

【請求項 34】

請求項 18 から 33 のいずれか 1 の方法であって、
前記接着剤材料が、それ自体、前記スペーシング・マウンティング構造として機能するのに十分な硬さを有する、
ところの方法。

【請求項 35】

請求項 18 から 34 のいずれか 1 の方法であって、
前記接着剤材料が、機械的に適用される、
ところの方法。

【請求項 36】

一体化した窓サッシであって、
フレーム開口を形成する内側周囲を有するサッシフレーム、
前記内側周囲に適用され、前記フレーム開口に向けて張り出す接着剤材料の第一のストリップであって、この接着剤材料の第一のストリップが、第一の嵌込窓ガラスのマウンティング構造として機能し、続けて受ける嵌込窓ガラスのマウンティング構造として機能するように適合される、接着剤材料の第一のストリップ、及び
前記第一のストリップと実質的に平行に前記内側周囲に適用され、前記フレーム開口に向けて張り出す接着剤材料の第二のストリップであって、この接着剤材料の第二のストリップが、第二の嵌込窓ガラスのマウンティング構造として機能し、続けて受けるように機能する、接着剤材料の第二のストリップ、
を含む一体化した窓サッシ。

【請求項 37】

請求項 36 の一体化した窓サッシであって、

前記の接着剤材料の第一のストリップが、前記第一の嵌込窓ガラスの内側表面を受けるように適合され、

前記の接着剤材料の第二のストリップが、前記第二の嵌込窓ガラスの外側表面を受けるように適合される、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 38】

請求項 36 の一体化した窓サッシであって、

前記の接着剤材料の第一のストリップが、前記第一の嵌込窓ガラスの内側表面を受けるように適合され、

前記の接着剤材料の第二のストリップが、前記第二の嵌込窓ガラスの内側表面を受けるように適合される、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 39】

請求項 36 の一体化した窓サッシであって、

前記の接着剤材料の第一のストリップが、前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面を受けるように適合され、

前記の接着剤材料の第二のストリップが、前記第二の嵌込窓ガラスの外側表面を受けるように適合される、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 40】

請求項 36 から 39 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、

少なくとも一つの付加的な接着剤材料のストリップが、少なくとも一枚の付加的な嵌込窓ガラスを取り付けるために、前記内側周囲に適用される、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 41】

請求項 36 から 40 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、

前記の接着剤材料のストリップのうちの少なくとも一つが、接着剤のビーズ、プレフォームド接着剤フォーム、プレフォームド接着剤テープ又は化学的シーラントのうちの少なくとも一つのように前記サッシフレームの内側周囲に適用される、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 42】

請求項 36 から 41 のいずれか 1 の多重の窓ガラスを一体化した窓サッシであって、

前記の接着剤のマウンティングストリップは、前記嵌込窓ガラスのエッジを少なくとも部分的に埋め込むようにそれぞれの嵌込窓ガラスを受けるように適合される、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 43】

請求項 36 から 42 のいずれか 1 の一体化した窓サッシであって、

前記接着剤材料が、それ自体、前記スペーシング・マウンティング構造として機能するのに十分な硬さを有する、

ところの一体化した窓サッシ。

【請求項 44】

多重の窓ガラスを一体化した窓サッシを製造するための方法であって、

内側周囲を有するサッシフレームを与える工程、

接着剤材料の第一のストリップを前記内側周囲に適用する工程であって、前記の接着剤材料の第一のストリップが、嵌込窓ガラスのためのマウンティング構造として機能するように適合される、工程、

前記の接着剤材料の第一のストリップに第一の嵌込窓ガラスを取り付ける工程、

前記第一のストリップと実質的に平行に前記内側周囲に接着剤材料の第二のストリップ

を適用する工程、及び

前記の接着剤材料の第二のストリップに第二の嵌込窓ガラスを取り付ける工程、を含む方法。

【請求項 4 5】

請求項 4 4 の方法であって、

前記第一の嵌込ガラス窓が、この窓ガラスの内側表面を介して前記の接着剤材料の第一のストリップに取り付けられ、

前記第二の嵌込ガラス窓が、この窓ガラスの外側表面を介して前記の接着剤材料の第二のストリップに取り付けられる、ところの方法。

【請求項 4 6】

請求項 4 4 の方法であって、

前記第一の嵌込ガラス窓が、この窓ガラスの内側表面を介して前記の接着剤材料の第一のストリップに取り付けられ、

前記第二の嵌込ガラス窓が、この窓ガラスの内側表面を介して前記の接着剤材料の第二のストリップに取り付けられる、ところの方法。

【請求項 4 7】

請求項 4 4 の方法であって、

前記第一の嵌込ガラス窓が、この窓ガラスの外側表面を介して前記の接着剤材料の第一のストリップに取り付けられ、

前記第二の嵌込ガラス窓が、この窓ガラスの外側表面を介して前記の接着剤材料の第二のストリップに取り付けられる、ところの方法。

【請求項 4 8】

請求項 4 4 から 4 7 のいずれか 1 の方法であって、

少なくとも一つの付加的な接着剤材料のストリップが、少なくとも一枚の付加的な嵌込窓ガラスを取り付けるため、前記内側周囲に適用される、ところの方法。

【請求項 4 9】

請求項 4 4 から 4 8 のいずれか 1 の方法であって、

前記の接着剤材料のストリップが、接着剤のビーズ、プレフォームド接着剤フォーム、プレフォームド接着剤テープ、又は化学的シーラントのうちの少なくとも一つのように、前記サッシフレームの内側周囲に適用される、ところの方法。

【請求項 5 0】

請求項 4 4 から 4 9 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込窓ガラスのエッジが、これらのそれぞれの接着剤のマウンティングストリップに少なくとも部分的に埋め込まれる、ところの方法。

【請求項 5 1】

請求項 4 4 から 5 0 のいずれか 1 の方法であって、

前記の接着剤材料の第一及び第二のストリップが、それら自体、前記マウンティング構造として機能するのに十分な硬さを有する、ところの方法。

【請求項 5 2】

多重の窓ガラスを一体化した窓サッシを製造するための方法であって、

その第一の側部からアクセス可能な嵌込窓ガラス取付開口を有し、その第二の側部に嵌込窓ガラス支持表面を有するサッシフレームを与える工程、

第一の嵌込窓ガラスを前記開口に挿入し、前記支持表面に隣接して前記嵌込窓ガラスの

外側表面周囲を配置する工程、

前記開口に第二の嵌込窓ガラスを挿入し、前記第一の嵌込窓ガラスの内側表面周囲に隣接して前記第二の嵌込窓ガラスの内側表面周囲を取り付ける工程、及び

前記嵌込窓ガラスが挿入された後に、前記嵌込窓ガラス取付開口の少なくとも一部分に沿って少なくとも一つの嵌込ビーズを取り付ける工程、を含む方法。

【請求項 5 3】

請求項 5 2 の方法であって、

少なくとも一枚の付加的な嵌込窓ガラスが、前記開口に挿入され、前記の嵌込ビーズを取り付ける工程の前に、前の嵌込窓ガラスに隣接して取り付けられる、ところの方法。

【請求項 5 4】

請求項 5 2 又は 5 3 の方法であって、

前記第二の嵌込窓ガラスが、接着剤を介して、前記第一の嵌込窓ガラスに取り付けられる、ところの方法。

【請求項 5 5】

請求項 5 4 の方法であって、

前記接着剤が、前記第一の嵌込窓ガラスの内側表面周囲の少なくとも一部分に適用される、ところの方法。

【請求項 5 6】

請求項 5 4 又は 5 5 の方法であって、

前記接着剤が、前記第二の嵌込窓ガラスの内側表面周囲の少なくとも一部分に適用される、ところの方法。

【請求項 5 7】

請求項 5 4 から 5 6 のいずれか 1 の方法であって、

前記接着剤が、前記サッシフレームの少なくとも一部分に適用される、ところの方法。

【請求項 5 8】

請求項 5 4 から 5 7 のいずれか 1 の方法であって、

前記接着剤が、

(i) 接着剤のビーズ、

(i i) プレフォームド接着剤フォーム、

(i i i) 発泡接着剤フォーム、

(i v) プレフォームド接着剤テープ、

(v) 乾燥接着剤、

(v i) 化学的シーラント、

のうちの少なくとも一つからなる、ところの方法。

【請求項 5 9】

請求項 5 2 から 5 8 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面周囲の少なくとも一部分が、前記支持表面に接着的に取り付けられる、ところの方法。

【請求項 6 0】

請求項 5 2 から 5 9 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面周囲の少なくとも一部分が、

(i) 接着剤のビーズ、

(i i) プレフォームド接着剤フォーム、
(i i i) 発泡接着剤フォーム、
(i v) プレフォームド接着剤テープ、
(v) 乾燥接着剤、
(v i) 化学的シーラント、

のうちの少なくとも一つを介して、前記支持表面に接着的に取り付けられる、
ところの方法。

【請求項 6 1】

請求項 5 2 から 6 0 のいずれか 1 の方法であって、

前記支持表面が、前記サッシフレームの第二の側部の周りに張り出すリップを含む、
ところの方法。

【請求項 6 2】

請求項 5 2 から 6 1 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスと前記第二の嵌込窓ガラスとの間に乾燥剤を与える工程、
をさらに含む方法。

【請求項 6 3】

請求項 5 2 から 6 2 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込ビーズが、前記嵌込窓ガラス取付開口に挿入した最後の嵌込窓ガラスの外側表面周囲に圧力を及ぼし、これにより、前記嵌込窓ガラスを前記支持表面に向けて片寄せする、
ところの方法。

【請求項 6 4】

請求項 5 2 から 6 3 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込窓ガラスのうちの少なくとも一枚の配置を容易にするために、前記サッシフレームにセッティングブロックを与える工程、
をさらに含む方法。

【請求項 6 5】

請求項 5 2 から 6 4 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスが、前記支持表面上に浮くように取り付けられ、前記第二の嵌込窓ガラスが、前記第一の嵌込窓ガラス上に浮くように取り付けられ、前記嵌込窓ガラスが、応力に関して独立的に機能する、
ところの方法。

【請求項 6 6】

請求項 5 2 から 6 5 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面周囲が、接着剤を介して前記支持表面に接着的に取り付けられ、前記接着剤が、前記サッシフレームを製造するために使用されるサッシプロフィールと一緒に押出することによって前記支持表面の少なくとも一部分に適用される、
ところの方法。

【請求項 6 7】

請求項 5 2 から 6 5 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面周囲が、接着剤を介して前記支持表面に接着的に取り付けられ、前記接着剤が、前記サッシフレームの製造後の押出しによって前記支持表面の少なくとも一部分に適用される、
ところの方法。

【請求項 6 8】

請求項 5 2 から 6 7 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスを前記支持表面に取り付けるために、前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面周囲の少なくとも一部分に接着剤を適用する工程、
をさらに含む方法。

【請求項 69】

請求項 52 から 68 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込窓ガラスのうちの少なくとも一枚が、接着剤を使用して、前記サッシフレーム内に取り付けられ、

前記の少なくとも一枚の嵌込窓ガラスのエッジが、前記接着剤に少なくとも部分的に埋め込まれる、

ところの方法。

【請求項 70】

請求項 52 から 69 のいずれか 1 の方法であって、

前記第二の嵌込窓ガラスが、前記第一の嵌込窓ガラスに、これらの間に間隔が形成されるように、取り付けられる、

ところの方法。

【請求項 71】

請求項 70 の方法であって、

前記間隔を不活性ガスで満たす工程、及び

これらの間の前記ガスの漏れを防止するために、前記間隔をシールする工程、をさらに含む方法。

【請求項 72】

請求項 52 から 71 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一と第二の嵌込窓ガラスの間に少なくとも一つのスペーシングクリップを取り付ける工程、

をさらに含む方法。

【請求項 73】

請求項 72 の方法であって、

前記スペーシングクリップが、前記第一と前記第二の嵌込窓ガラスの間に前記スペーシングクリップによって定められた間隔内に少なくとも一つの縦横バーを固定するように適合される、

ところの方法。

【請求項 74】

請求項 52 から 73 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込ビーズと、隣接する嵌込窓ガラスとの間に接着剤を適用する工程、をさらに含む方法。

【請求項 75】

請求項 52 から 74 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込ビーズと、隣接する嵌込窓ガラスとの間にガスケットを取り付ける肯定、をさらに含む方法。

【請求項 76】

請求項 52 から 75 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込窓ガラスのエッジが、接着剤に実質的に完全に埋め込まれる、ところの方法。

【請求項 77】

請求項 52 から 76 のいずれか 1 の方法であって、

前記第二の嵌込窓ガラスが、スペーサを介して前記第一の嵌込窓ガラスに取り付けられる、

ところの方法。

【請求項 78】

請求項 77 の方法であって、

前記スペーサ、前記サッシフレームの内側周囲との間のキャビティを接着剤で満たす工程、

をさらに含む方法。

【請求項 79】

請求項 78 の方法であって、

前記接着剤が前記内側周囲に接触しないように、前記キャビティが、前記スペーサから前記サッシフレームに向けて部分的に満たされる、
ところの方法。

【請求項 80】

請求項 78 の方法であって、

前記キャビティが、前記接着剤が前記内側周囲に接触するように、前記キャビティが、前記スペーサから前記内側周囲へ実質的に完全に満たされる、
ところの方法。

【請求項 81】

請求項 78 から 80 のいずれか 1 の方法であって、

前記嵌込窓ガラスのエッジが、前記接着剤に少なくとも部分的に埋め込まれる、
ところの方法。

【請求項 82】

請求項 77 から 81 のいずれか 1 の方法であって、

少なくとも一枚の嵌込窓ガラスのためのセッティングブロックのように前記スペーサの一部分を使用する工程、
をさらに含む方法。

【請求項 83】

請求項 77 から 82 のいずれか 1 の方法であって、

前記スペーサのうちの少なくとも一つが T 字形である、
ところの方法。

【請求項 84】

請求項 83 の方法であって、

前記スペーサが、セッティングブロックの部分を含む、
ところの方法。

【請求項 85】

請求項 77 から 84 のいずれか 1 の方法であって、

前記スペーサと一体の少なくとも一つのシミュレーテッド縦棧バーを与える工程、
をさらに含む方法。

【請求項 86】

請求項 77 から 85 のいずれか 1 の方法であって、

少なくとも一つのシミュレーテッド縦棧バーのための取付要素とともに前記スペーサを与える工程、
をさらに含む方法。

【請求項 87】

請求項 86 の方法であって、

前記取付要素が、前記スペーサに関連した溝を含む、
ところの方法。

【請求項 88】

請求項 77 から 87 のいずれか 1 の方法であって、

前記スペーサが、

- (i) 接着剤のビーズ、
 - (i i) 乾燥剤のビーズ、
 - (i i i) プレフォームド剛性材料、
 - (i v) プレフォームド又は発泡フォーム、
 - (v) プレフォームド接着剤、
 - (v i) プレフォームド乾燥剤材料、
- のうちの少なくとも一つからなる、

ところの方法。

【請求項 89】

請求項 77 から 88 のいずれか 1 の方法であって、
前記嵌込窓ガラスが、異なったサイズである、

ところの方法。

【請求項 90】

請求項 52 から 89 のいずれか 1 の方法であって、
前記嵌込ビーズが、前記サッシフレームに取り付けられる剛のストリップからなる、

ところの方法。

【請求項 91】

請求項 52 から 90 のいずれか 1 の方法であって、
前記嵌込ビーズが、フレキシブルな接着剤材料からなる、

ところの方法。

【請求項 92】

請求項 52 から 91 のいずれか 1 の方法であって、

前記第一の嵌込窓ガラスの外側表面周囲の少なくとも一部分と、前記支持表面との間に
接着剤を適用する工程、及び

前記第一と第二の嵌込窓ガラスの間の感覚から前期接着剤を絶縁するために、前記支持
表面と、前記サッシフレームの内側周囲との間に第一のダム脚を与える工程、
をさらに含む方法。

【請求項 93】

請求項 92 の方法であって、

前記第一のダム脚と平行に第二のダム脚を与える工程であって、前記接着剤が前記ダム
脚の間に閉じ込められる、工程、
を含む方法。

【請求項 94】

多重の窓ガラスを一体化した窓ユニットであって、
サッシフレーム、

内側表面と外側表面とを有する第一の嵌込窓ガラスであって、前記外側表面が、接着剤
材料の第一のストリップを介して前記サッシフレームに取り付けられる、ところの第一の
嵌込窓ガラス、及び

内側表面と外側表面とを有する第二の嵌込窓ガラスであって、この第二の嵌込窓ガラス
の前記外側表面が、接着剤材料の第二のストリップを介して前記サッシフレームに取り付
けられ、この第二の嵌込窓ガラスの前記内側表面が、前記第一の嵌込窓ガラスの前記内側
表面に対面する、ところの第二の嵌込窓ガラス、
を含む多重の窓ガラスを一体化した窓ユニット。

【請求項 95】

請求項 94 の多重の窓ガラスを一体化した窓ユニットであって、

接着剤材料の前記第一及び第二のストリップが、前記サッシフレームのベースに一体的
に形成された又はこのベースに取り付けられた前記サッシフレームのそれぞれのスペーサ
構造に適用される、

ところの多重の窓ガラスを一体化した窓ユニット。

【請求項 96】

請求項 95 の多重の窓ガラスを一体化した窓ユニットであって、

前記スペーサ構造が、前記第一と第二の嵌込窓ガラスの間を一定の所望の間隔に維持す
るように、構造的な支持を与える、

ところの多重の窓ガラスを一体化した窓ユニット。

【請求項 97】

請求項 94 の多重の窓ガラスを一体化した窓ユニットであって、

前記第一及び第二の嵌込窓ガラスが前記サッシフレームに取り付けられると、接着剤材

料の前記第一及び第二のストリップが、実質的に平行である、
ところの多重の窓ガラスを一体化した窓ユニット。

【請求項 98】

多重の窓ガラスを一体化した窓ユニットを製造するための方法であって、
サッシフレームを与える工程、
接着剤材料の第一のストリップを介して第一の嵌込窓ガラスの外側表面を前記サッシフ
レームに取り付ける工程であって、前記第一の嵌込窓ガラスが内側表面も有する、ところ
の工程、及び
接着剤材料の第二のストリップを介して第二の嵌込窓ガラスの外側表面を前記サッシフ
レームに取り付ける工程であって、前記第二の嵌込窓ガラスが内側表面も有し、前記第二
の嵌込窓ガラスの前記内側表面が、前記第一の嵌込窓ガラスの前記内側表面に対面する、
ところの工程、
を含む方法。

【請求項 99】

請求項 98 の方法であって、
接着剤材料の前記第一及び第二のストリップが、前記サッシフレームのベースに一体的
に形成された又はこのベースに取り付けられた前記サッシフレームのそれぞれのスペーサ
構造に適用される、
ところの方法。

【請求項 100】

請求項 99 の方法であって、
前記第一及び第二の嵌込窓ガラスが、接着剤材料の第一及び第二のストリップのそれぞ
れに前記第一及び第二の嵌込窓ガラスを接触させることによって取り付けられる、
ところの方法。

【請求項 101】

請求項 99 の方法であって、
前記スペーサ構造が、前記第一と第二の嵌込窓ガラスの間を一定の所望の間隔に維持す
るように、構造的な支持を与える、
ところの方法。

【請求項 102】

請求項 98 の方法であって、
前記第一及び第二の嵌込窓ガラスが、接着剤材料の第一及び第二のストリップのそれぞ
れに前記第一及び第二の嵌込窓ガラスを接触させることによって取り付けられる、
ところの方法。

【請求項 103】

請求項 98 の方法であって、
接着剤材料の前記第一のストリップが、前記第一の嵌込窓ガラスを取り付ける前に前記
サッシフレームに適用され、
接着剤材料の前記第二のストリップが、前記第二の嵌込窓ガラスを取り付ける前に前記
サッシフレームに適用される、
ところの方法。

【請求項 104】

請求項 98 の方法であって、
接着剤材料の前記第一のストリップが、前記第一の嵌込窓ガラスを前記サッシフレーム
に取り付ける前に前記第一の嵌込窓ガラスの前記外側表面に適用され、
接着剤材料の前記第二のストリップが、前記第二の嵌込窓ガラスを前記サッシフレーム
に取り付ける前に前記第二の嵌込窓ガラスの前記外側表面に適用され、
ところの方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 9 】

本発明の接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、板ガラスをサッシプロファイルに取り付けるのに適した任意の形状を有する。よって、図 2 に示される接着剤のスペーシング・マウンティング構造 1 8 の実質的に長方形の断面だけが例示されている。接着剤のスペーシング・マウンティング構造の基本的な要件は、ガラス製の窓ガラスをサッシプロファイルに確実に保持するのに十分な接着強度及び構造的な剛性を有することである。また、ガラス製の窓ガラスの間に密閉シールを与えなければならない。サッシプロファイルに適用されるときに、接着剤のスペーシング・マウンティング構造の幅の程度の関数である窓ガラスの間に所望の間隔付け（又はスペーシング）もしなければならない。接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、また、見通しエリアのエッジで凝集させる傾向にある窓となる従来技術の金属のスペーサ構造の問題を回避するために、熱的な絶縁体であるべきである。さらに、接着剤のスペーシング・マウンティング構造は、これと組み合わせるか又は例えばこの上の被膜として与えられる乾燥剤を含むべきである。